

実習紹介「附属幼稚園観察実習」 (文責 土岐 賢悟)

この実習は、1年時の院生を対象に行う「附属学校園・県立高等学校観察実習」の一つとして実施されているものです。幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校といった全ての校種での実習を通して、授業観察の仕方・視点、事実の収集の仕方を身に付けることをねらいとしています。「附属幼稚園観察実習」では、附属幼稚園での教育活動の観察、講話をいただいた後、その学びを基に「省察検討会」を行います。「省察検討会」では、収集した事実を基に、何をどのように捉え、思考し、判断し、評価したかについて、グループで検討します。実習の流れは以下の通りです。



<令和元年度実習の例>

日程	内容
8:00～ 8:15	附属幼稚園に集合
8:15～ 8:30	※幼稚園職員朝の打合せ 院生会場づくり
8:30～ 9:00	園児登園
8:45～ 9:00	【開会行事】 進行：(教職大学院教員) ○挨拶 附属幼稚園副園長先生<観察の観点> ○日程説明 (教職大学院教員) ○実習にあたっての留意事項：(教職大学院教員)
9:00～12:00	【教育活動観察】 11:20～ 園児による給食準備
12:00～13:00	【昼食】
13:00～14:00	【観察記録の作成】
14:00	○園児降園 (講話のために机・椅子の準備)
14:20～14:50	【講話】 (附属幼稚園) ○附属幼稚園の教育活動等について ○質疑応答
14:50～16:00	【省察検討会】 (教職大学院・附属幼稚園) 1 グループ確認...メンバー、司会者、発表者 2 グループ協議...報告：収集した事実・解釈、質疑応答、意見交換、 (可能であれば校種間連携、地域との連携協力等) 3 全体協議 ... 各グループから発表、意見交換
16:00～16:20	【閉会行事】 進行：(教職大学院教員) ○院生から (院生代表) ○実習校教員から (附属幼稚園) ○観察実習を終えるにあたって (教職大学院教員)

令和2年度は新型コロナウイルス感染防止対策のため、残念ながら実際に附属幼稚園を訪問しての実習は叶いませんでしたが、附属幼稚園からいただいた園の研究に関するスライド資料や、学校要覧の資料を基に、院生と教職大学院教員との遠隔授業として実施しました。校内研修の内容や、特別支援教育体制、危機管理など、多くの学びが得られた、充実した研修となりました。